

**市長は説明責任を果たせたか！**  
**関根 光浩**  
 (公明党)

【質問】平成25年第1回定例会で、予算の修正とともに可決された付帯決議は、「市長は、これまでの財政に対する認識を改め、市の財政が危機的状況であることを効果的な手段を用いて市民に知らせることを」とを求めている。タウンミーティングで説明することだったが、できたか考えるか。

【答弁】財政状況が厳しくして、行政改革を取り組んで歳入確保と歳出削減を進めてきたが、今後も改革・改善を加速しなければならぬことを、資料を用いて説明した。各会場で質問等もあり、適切な理解いただける説明ができたと考えている。

【質問】職員健康診断は、取り組み次第で費用の削減が可能ではないか。

【答弁】厳しい財政状況を鑑み、検討が必要である。定期健診期間の短縮や、任意健診の一部見直し等により、経費の削減を図りたい。

**健康増進・介護予防施設充実を**  
**沢田 孝康**  
 (公明党)

【質問】運動機能が落ち、介護が必要になる可能性の高いロコモティブシンドローム(運動器症候群)について、認知度を高める取り組みは。

【答弁】生活習慣病の改善と社会参加による健康寿命の延伸や生活の質の向上を目指している。今後、ロコモティブシンドロームの予防や周知を視点に入れている。

【質問】担当部の意見を聞きながら行政改革を進めることも大事だが、事業の縮小・廃止はあまりない。市民を前に、担当部として「これは要らない」という議論にはならない。現在の行政改革アクションプランを現在の財政状況に照らし合わせて見直しが必要になるのではないか、見直しは。

【答弁】歳入確保と歳出の抑制、地域活性化の取り組み、社会資本整備に対する効果的な対応も含め、行政改革推進本部で議論していく。

**認可保育園の増設を！**  
**村山 順次郎**  
 (日本共産党)

【質問】保育園の待機児童解消のための具体策として、旧大道幼稚園跡地に認可保育園を誘致する考えは。

【答弁】近隣には4園の保育園があり、当該エリアでは87名の待機児童解消策を講じてきた。また、現在の園舎を保育園として活用するには大幅な改修が必要であり、認可保育園誘致は考えていない。

【質問】くぬぎ児童館閉館について、保護者の声を聞いたか。

【答弁】耐震診断のI-S値が基準に満たないこと、耐震補強や改修には相当な期間と経費が必要であり、現在地での建て替えや補強工事は行わない考えを示してきた。利用者の安全面が最も重要との判断で利用停止する。年内の閉館を目指し7月から利用団体に説明を始めた。今後は、利用している子どもたち、保護者、自治会や地域住民にも説明していく。

**認可保育園の増設を！**  
**三浦 猛**  
 (公明党)

【質問】老朽化した施設の維持費の増加や安全性の低下が懸念される。いち早く課題に取り組んでいる自治体では、各施設を全庁的な視点で一元管理する体制を構築している。一般職員でも点検可能なチェック項目により担当者や自主点検するという公共建築物点検マニュアルのシステムを導入している平塚市の例がある。わが市でも取り組んではどうか。

【答弁】担当部署や人員確保の問題がある。組織改正に向けた大きな課題として捉えていきたい。

【質問】教育長の不在に関して、①現状をどう感じているか、②再任より混乱を来す不在を選んだ理由は。

【答弁】①教育長の役割は重要だと認識する。申し訳なく思っており、協力・助力できる部分があれば積極的に取り組んでいきたい。②もう一度検討する中で判断したい。ご理解いただきたい。

**認可保育園の増設を！**  
**永田 雅子**  
 (日本共産党)

【質問】小・中学校理科室へのエアコンの設置を求め。

【答弁】普通教室へのエアコン設置は東京都等の補助により完了したが、特別教室長では、東京都に対し、特別教室等も補助対象とするよう要望している。引き続き教育長を通じ、東京都の補助が実現するよう努力していく。

【質問】上の原地区に新たな必要とする特別養護老人ホームに多床室は必要と考えるが、規模と料金は。また、市民は優先入所できるのか。

【答弁】多床室は30床以上確保したいと考えている。多床室の利用者負担は、利用料の1割負担と居住費、食費等で月額5〜6万円であり、ユニット型の個室は15万円程度である。入所は原則申し込み順だが、市民へ迅速に情報提供し、円滑かつ迅速に手続きが行えるように支援したい。

**認可保育園の増設を！**  
**原 紀子**  
 (日本共産党)

市長はどごまで福祉を削るのか！

【質問】8月、行政改革アクションプランに「各種住宅手当の適正化」が追加された。ひとり親家庭と障がい者の住宅手当を切り下げようとしている。ひとり暮らし高齢者が対象外の理由は。

【答弁】各種住宅手当の支給要件の見直しは、関係課で議論を重ねてきた。ひとり暮らし高齢者を対象外にするという点から整理し、バランスを図るという点から対象から外れた。厳しい財政状況を受け、支給要件を見直すもので、「理解いただきたい」。

【質問】私立幼稚園等園児保護者補助金については、既に来年度の園児募集の広告で説明されている。26年度からの所得制限導入実施は見送るべきでは。

【答弁】所得制限の導入は、この3年間数年に表明してきた。アクションプランにも記載しており、予定通り26年度から実施したい。

# 市政のここが聞きたい

東久留米市地域資源 マスコットキャラクター **湧水の妖精 るるのちゃん**

第3回定例会の一般質問は、9月4日～9日の4日間でわれ、21名の議員が当面する市政運営について市長の姿勢や考え方を質問しました。主な内容を掲載します。一般質問を含む第3回定例会の本会議の録画映像は、市HPのインターネット映像配信よりご覧いただけます。会議録は、11月下旬より、市HPまたは、市立図書館、各コミュニティ図書室、市政情報コーナー（本庁舎2階）でご覧いただけます。

**西口便所清掃委託もと安くできる？**  
**近藤 誠一**  
 (市議会民主党)

【質問】西口便所清掃委託は年間約56万円。契約相手は公益社団法人東久留米市シルバー人材センター。契約金額が民間業者と比較して高いと思うが。

【答弁】高齢者等の雇用就業等に關する法律に基づき、高齢者の就業の確保と職業の安定を目的として随意契約を締結している。

【質問】自分で見積もりをとって調べたら、A社の場合年間割増で同じ内容の業務を請け負うことが判明した。これでもシルバー人材センターへの随意契約は間違いないと言えるか。

【答弁】国土交通省の建築保全業務積算基準・要領や東京都の維持保全業務積算指針等を参考に、適正な金額であるか調べた上で契約していきたい。

【意見】それだと計算すると10数万円安くなる。シルバー人材センターに委託するのならこよりも安く、という議論が必要だ。

**外国人児童生徒の日本語支援の充実を**  
**白石 玲子**  
 (ネットフォーラム)

【質問】共通番号制について、①現状と今後の対応は、②個人情報漏えい対策は。

【答弁】①具体的な検討はこれからであり、情報収集に努め対策を検討していく。②課題として捉えている。

【質問】多文化共生について、①外国人児童・生徒への日本語学習指導の時間が少ないのではないか、改善を求める。②母国語を補完するような体制はないか。保護者については、日本語指導のボランティアの方等が対応。③今後、ホームページにCMS(コンテンツ・マネージメント・システム)を導入する際に、対応していきたい。

**未来のために今できることを！**  
**富田 竜馬**  
 (市議会民主党)

【質問】公共施設白書について、わが市では、昭和40年代、50年代に建設された公共施設が多く、その維持管理と更新は非常に大きな課題であり、この件については私は何度も指摘してきた。白書は将来を考慮の上で、最低限必要なものである。市としても必要性を認めながら、基本方針を示していない。検討状況を伺う。

【答弁】今年度中に取り組みと答弁してきたが、なかなか難しい。もうしばらく見守ってほしい。

【質問】東久留米市職員懲戒分限審査委員会の審査について、不祥事があった場合、現職の職員が市職員の処分可否および量定について審査することになる。客観性等からして市民の皆さまの理解を得られるのか。外部審査を検討している市もあるが。

【答弁】前議会でも指摘いただき、調査はしている。今後の研究の参考とする。

**市政改革は前進しているのか？**  
**佐藤 一郎**  
 (みんなの党)

【質問】保育園の待機児童解消策として国家公務員宿舎の空き室を活用した家庭的保育(保育ママ)事業を推進しては。

【答弁】このような事例は都内で3カ所ある。取り組みについて研究するところにも、空きスペースの有無などを確認し、実現の可能性について探っていく。

【質問】以前、職員組合との労使交渉の過程を公開していたと聞いたが、結果はどうか、その進捗状況は。

【答弁】東久留米市労使交渉の経過及び結果に係る公表取扱要領を定めた。現在、公開に向けて準備を進めている。

【質問】くぬぎ児童館は今年度閉館してその跡地を売却することだが、そのことが行政改革アクションプランに明示されていないのはなぜか。

【答弁】売却の方向性は決まっているが、その段階でのような形で売却するかなど、ここまでの調整はまだ出来ていない。

**現市長の法的執務に疑問あり**  
**小山 貴**  
 (自民クラブ)

【質問】前年度当初予算の専決処分等、市長の意思決定は、地方自治における二元代表民主制の否定につながるもの。見解を伺う。

【答弁】市政運営を行う中で、議会をはじめ多くの市民に理解いたすべく努力してきたが、結果として十分な理解を得るに至っていないのは残念である。今後とも安定した市民生活維持・提供のために、残りの任期の中で、しっかりと取り組み、市政運営に力を尽くしたい。

【質問】教育委員の欠員により行政が止まらなくなるのではないか。法律で定められた人を任命できないのは、市長の不作為、責任の放棄であり、執行能力不足と言わざるを得ない。市長は退任すべきと思いが、いかがか。

【答弁】引き続き退任に努めているが、大変厳しい状況に変わりはない。ご理解いただきたい。

**市長にとって公約は軽いものか**  
**並木 克巳**  
 (自民クラブ)

【質問】大型商業施設の誘導、保育園の民営化等の事業について、市長は、プロセッサーを、市民参加を見直しと選挙時に訴えてきたが、結果はどうか。

【答弁】大型商業施設にかかる地区計画の見直し等、実現できなかったことは市民の皆さまに大変申し訳なく思っているが、子育てや医療など地域貢献に資するような施設を実現するところができ、ご好評をいただいたことは喜ばしいと考える。公約を厳格に果たすことについては、今後も引き続き努力していきたい。

【質問】教育環境の充実には、魅力あるまちづくりの重要な課題であり、わが市においても学力向上向け支援体制を強化すべきと考える。放課後や土曜日を活用した教育的なプログラムの検討を。

【答弁】ボランティアによる補習教室を開講できないか前向きに検討する。

**みんなが楽しめる六仙公園に**  
**野島 武夫**  
 (自民クラブ)

【質問】再度開問、市長の政治姿勢について、①辞職勧告・問責決議を受け、議会から多くの指摘・異議が唱えられてきたが、この4年間をどう考えるか、②市政を再評価させた状況を認識し、身を引くべきではないか。

【答弁】①議会をはじめ、市民の皆さまに理解いたすべく努めてきたが、結果として十分な理解を得られないことは大変残念である。残りの任期、職員の7割責任を果たした。②今後よく検討し、しかるべき時期に明らかになる。

【質問】部分開問している都立六仙公園について、①フリードの犬対策は、②若者のたまり場になるなど防犯上の不安の声を聞く。管理体制は。

【答弁】東京都は、①犬のしつけ教室の実施など啓発を進め、②パトロールの強化や防犯カメラの設置など、改善されるよう取り組んでいる。

**不足する防災備蓄の確保を急げ**  
**阿部 利恵子**  
 (公明党)

【質問】従来の市の計画だけでは待機児童解消は困難と考える。国や東京都の制度を活用し、対策を講じるべきでは。

【答弁】国の「待機児童解消加速化プラン」のうち保育所緊急整備事業・保育士等処遇改善臨時特例事業・認可外保育施設運営支援事業の3事業に手を挙げた。東京都の「スマート保育」事業については、研究していきたい。

【質問】防災備蓄に関して、①新たな被害想定下では、旧大道幼稚園園舎を活用すれば防災倉庫は足りるのか、②避難所となる学校には水の備蓄がない。全てでなくとも、せめて中学校区ごとに分散備蓄すべきと考えるか。

【答弁】①避難者が2倍に増え、740平米の床面積が必要だが、旧大道幼稚園を活用しても不足する。今後、倉庫の充実を進めないと断れないと考える。

【市長】地域防災計画の見直しの中で、可能なものから順次予算に反映したい。

**小中学の理科室の温度は34℃！**  
**永田 雅子**  
 (日本共産党)

【質問】小・中学校理科室へのエアコンの設置を求め。

【答弁】普通教室へのエアコン設置は東京都等の補助により完了したが、特別教室長では、東京都に対し、特別教室等も補助対象とするよう要望している。引き続き教育長を通じ、東京都の補助が実現するよう努力していく。

【質問】上の原地区に新たな必要とする特別養護老人ホームに多床室は必要と考えるが、規模と料金は。また、市民は優先入所できるのか。

【答弁】多床室は30床以上確保したいと考えている。多床室の利用者負担は、利用料の1割負担と居住費、食費等で月額5〜6万円であり、ユニット型の個室は15万円程度である。入所は原則申し込み順だが、市民へ迅速に情報提供し、円滑かつ迅速に手続きが行えるように支援したい。

# 一般質問

本会議の進行を務める篠宮正明議長

**市民満足度向上へ人材育成急げ**  
**梶井 琢太**  
 (市議会民主党)

【質問】平成21年3月公表の東久留米市職員人材育成基本方針の実施事業について、35事業あるうちの特に、①接遇のマニュアルとプロセスの策定、②研修基本方針・研修計画策定、③職員の提案制度の活用等の進捗状況を。

【答弁】①新たに制定していききたい。②根本的な研修基本方針の確立に向けて取り組んでいきたい。③職員の発想を大切にしたいと検討していきたい。

【質問】職員人材育成基本方針は4年以上経過し進捗管理が出来ていない。実行計画の工程表作成も含め、基本方針をレビューすべきと考えるか。

【答弁】検討させていただきます。

【質問】人事評価制度の導入状況は。

【市長】管理職は年度末に業績評価に加え能力評価表を作成し、人事評価を行う。全職員の給与への反映は、結果を檢視し、関係団体と協議した上で進めていく。

**くぬぎ児童館閉館ネット待ち！**  
**桜木 善生**  
 (社民党)

【質問】6月議会で25議席第40号「大切なくぬぎ児童館廃館撤回を強く求める」請願が継続審査となっている。にもかかわらず、9月1日号広報に「閉館に向けての説明会」の案内が載っている。市議会はまた結論を出していない。閉館の説明会を行うのはいかがか。議会の意思に相違するのでは。

【市長】I-S値が基準に満たない施設を、使わせない責任は、行政が負わなければならない。児童の安全を第一に考えて閉館し、施設がなくなることについては、昨年12月議会以来お話ししている。議会が継続審査となったものに関しては、行政が全くその後ろも押しはならないという解釈は導くと思っている。

【質問】閉館のことを言う以上は、継続審査とした側に説明する必要があるのではないか。それが議会との信頼関係ではないか。

【市長】説明はしてごまかす認識ではない。

**くぬぎ等の説明会はなぜ遅い？**  
**細谷 祥子**  
 (自民クラブ)

【質問】3月議会で、くぬぎ児童館の閉館に際し、市内施設計画について市民説明会を求める請願が市の自治会から提出された。請願は全会一致で採択されたが、全く動きも今日に至っていない。その後どうなるのか。

【答弁】事業を進めるに当たり、一定の調整が必要である。状況に応じて地域住民をはじめ関連する市民に対し、適宜情報提供を行う必要があると認識している。

【質問】本定例会で第一小学校付近の信号機設置と周辺の安全対策についての請願が提出されている。一日も早く実現に向け努力してほしいが、現状はどうかか。

【答弁】児童の安全のため、信号機設置は必要であり、所管の田無警察署に引き続き設置要望を行う。また、設置の際には、東京都にも早期の安全対策について要望していく。

**教育行政に無責任な馬場市長！**  
**津田 忠広**  
 (公明党)

【質問】補正予算に計上した認可外保育施設保護者助成は、待機児童解消政策。また受益と負担の不公平感解消の観点から賛成するが、問題は財源である。可決すれば来年度以降経費となるが、財源をどう考えるか。

【市長】行政改革に取り組み、歳入・歳出総体の中で、優先施策を選び提案している。

【質問】教育長を前提とする教育委員の選任に関して、①不在によるデメリットやリスクは、②教育委員会から要望された教育委員会での状況説明に、すぐ対応しなかったのはなぜか。

【答弁】①教育委員会の全ての会議に出席し、専門的立場から助言を行っている。等は教育長にしか代えない。

【市長】①不在の問題を公の場で語ることができないと考え、別の場で教育委員に経過等を説明し、一定の理解は得られたと考えている。

**都市計画道路の見直しを**  
**篠原 重信**  
 (日本共産党)

【質問】51年前に計画決定し、湧水を縦断する都市計画道路は、多額の財源が必要である。市民参加による見直しを。答弁 昭和37年に広域的な幹線道路のネットワークの形成を図るため都市計画決定された。南沢湧水や竹林公園を横断する路線については、水と緑の環境を守ることで整備の在り方が明らかになるまで、整備は留保する。

【質問】コミュニティに悪影響を与える公共施設使用料見直しは中止を。

【答弁】平成7年10月以降見直しが行われていない現状と歳入確保の観点から検討していない。使用料単価は、維持管理費等に基づく再算定を行い、減額・免除は、利用する人としいない人の公平性の観点、また、あくまでも特別の扱いとするという考えに基づき、利用者による一定の負担を求めるべきと、検討委員会を踏まえ、改正案をまとめていく。

**認可保育園の増設を！**  
**村山 順次郎**  
 (日本共産党)

【質問】保育園の待機児童解消のための具体策として、旧大道幼稚園跡地に認可保育園を誘致する考えは。

【答弁】近隣には4園の保育園があり、当該エリアでは87名の待機児童解消策を講じてきた。また、現在の園舎を保育園として活用するには大幅な改修が必要であり、認可保育園誘致は考えていない。

【質問】くぬぎ児童館閉館について、保護者の声を聞いたか。

【答弁】耐震診断のI-S値が基準に満たないこと、耐震補強や改修には相当な期間と経費が必要であり、現在地での建て替えや補強工事は行わない考えを示してきた。利用者の安全面が最も重要との判断で利用停止する。年内の閉館を目指し7月から利用団体に説明を始めた。今後は、利用している子どもたち、保護者、自治会や地域住民にも説明していく。

**認可保育園の増設を！**  
**原 紀子**  
 (日本共産党)

市長はどごまで福祉を削るのか！

【質問】8月、行政改革アクションプランに「各種住宅手当の適正化」が追加された。ひとり親家庭と障がい者の住宅手当を切り下げようとしている。ひとり暮らし高齢者が対象外の理由は。

【答弁】各種住宅手当の支給要件の見直しは、関係課で議論を重ねてきた。ひとり暮らし高齢者を対象外にするという点から整理し、バランスを図るという点から対象から外れた。厳しい財政状況を受け、支給要件を見直すもので、「理解いただきたい」。

【質問】私立幼稚園等園児保護者補助金については、既に来年度の園児募集の広告で説明されている。26年度からの所得制限導入実施は見送るべきでは。

【答弁】所得制限の導入は、この3年間数年に表明してきた。アクションプランにも記載しており、予定通り26年度から実施したい。

# 一般質問

本会議の進行を務める篠宮正明議長

**五小北側土地購入で教育の充実を**  
**宮川 豊史**  
 (久留米ハートネット)

【質問】3月、議会の予算修正により、第五小学校北側の土地を借入金ではなく教育振興基金を使って購入することが決まった。子ども達のために土地を購入するのでは、借金はしてその付けを子ども達に回すべきではないか。また、この基金は、旧第八小学校の土地を売却して積み立てられたお金であり、それを第五小土地購入に使うことには大きな意義がある。購入の手続きを進めていただきたいが現状は。

【答弁】測量は8月末で終了。不動産鑑定の実施、公有財産評価等審査会付議の手続きを経て、年内に契約する予定。

【質問】こみボックスについて個別別集に移行することによって、こみの減量につながるのか。

【答弁】これまで撤去したボックスの数は14だが、こみの量はボックス当たりに1回平均96kgから40kgとなり、約56kgの減量ができる結果が出ている。

**安心が得られるまちづくりを**  
**間宮 美季**  
 (さわやか市民自治の会)

【質問】防災行政について、①災害時要援護者の支援について、地域包括支援センターや介護事業所等と協定を結び体制を構築すべきと考えるか、②要援護者の支援方法を地域福祉計画にと盛り込むのか、③在宅で避難生活を送る被災者の支援を地域防災計画に明確化する考えは。

【答弁】①課題について担当部間で協議・検討を行っている。②地域福祉計画改定作業の中で検討。③在宅避難者も入れた避難所運営マニュアルを作成。

【質問】要支援者を介護保険給付から外した場合、①本市の対応は、②小さなNPOへの影響をどう考えるか。

【答弁】①現在のサービスを維持する場合、約9千万円が市の負担となる。国の動向を注視しつつ、要支援者へのサポートが低下しないよう対応したい。②地域での支え合いが大切になるので、支援も含め今後検討していく。

**みんなが楽しめる六仙公園に**  
**野島 武夫**  
 (自民クラブ)

【質問】再度開問、市長の政治姿勢について、①辞職勧告・問責決議を受け、議会から多くの指摘・異議が唱えられてきたが、この4年間をどう考えるか、②市政を再評価させた状況を認識し、身を引くべきではないか。

【答弁】①議会をはじめ、市民の皆さまに理解いたすべく努めてきたが、結果として十分な理解を得られないことは大変残念である。残りの任期、職員の7割責任を果たした。②今後よく検討し、しかるべき時期に明らかになる。

【質問】部分開問している都立六仙公園について、①フリードの犬対策は、②若者のたまり場になるなど防犯上の不安の声を聞く。管理体制は。

【答弁】東京都は、①犬のしつけ教室の実施など啓発を進め、②パトロールの強化や防犯カメラの設置など、改善されるよう取り組んでいる。